



報道各位

2018年3月26日

日産自動車株式会社  
住友商事株式会社  
フォーアールエナジー株式会社

### 浪江町における「使用済みEV用バッテリーの再製品化専用工場」の開業について

日産自動車株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：西川 廣人、以下「日産自動車」）と住友商事株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 CEO：中村 邦晴、以下「住友商事」）の合弁会社であるフォーアールエナジー株式会社（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：牧野 英治、以下「フォーアールエナジー」）は、電気自動車（以下、「EV」）の使用済みリチウムイオンバッテリーの再利用および再製品化に特化した日本初の工場（以下、「本工場」）を福島県双葉郡浪江町に開所しました。

地球温暖化等の環境課題を背景に、EVは急速に世界中で普及しています。日本においては、1998年よりEV購入時の補助金交付が実施されており、日本国内におけるEV販売は2010年頃に本格化しました。補助金利用者のEV買い替え等が見込まれる2018年を境に、EV搭載のリチウムイオンバッテリーの回収個数は大きく増加すると考えられます。今後、世界の自動車市場はEVシフトが急速に進むことが見込まれることから、将来的なバッテリー材料市況の高騰などの経済的課題だけではなく、環境課題や社会課題の面からも、EVリユースバッテリーの利活用が注目されています。

フォーアールエナジーは、使用済み車載用リチウムイオンバッテリーの有効活用に着目し、2010年に日産自動車と住友商事によって設立されて以来、再利用や再製品化のノウハウを蓄積してきました。フォーアールエナジーは、使用済みバッテリーの性能を短時間で測定できる技術開発に成功しており、当該技術を活用し、全国から回収した使用済みバッテリーの再利用・再製品化ビジネスを本工場にて開始します。本工場は、浪江町の藤橋産業団地内（2,447.97 m<sup>2</sup>）に整備され、グローバルな開発拠点としての機能と製造拠点としての機能を有し、国内初の再利用・再製品化拠点となります。製造される製品としては、世界初(\*)EV向け交換用再生電池をはじめとし、大型蓄電システムや電動フォークリフト等に使用される予定です。本工場は、東日本大震災後に浪江町が整備している企業立地の第一号であり、地域経済再生や町の発展にも寄与していきます。

\*：フォーアールエナジー調べ

日産自動車は、ゼロ・エミッション領域におけるリーダーとして、EVの開発、販売を行うだけでなく、EVを普及させ、持続可能なモビリティ社会を構築するために包括的な取り組みを行っています。今後も電気自動車の更なる普及に取り組んでまいります。

住友商事は、フォーアールエナジーと共同で、定置型蓄電池システム向けなど、EVで使い終わった蓄電池の再利用・再製品化の取り組みを通じて、EVの普及促進に貢献し、地球環境との共生に寄与してまいります。

**【会社概要】**

会社名 : フォーアールエナジー株式会社 (英名 4R Energy Corporation)  
代表取締役社長 : 牧野 英治  
所在地 : 神奈川県横浜市  
資本金 : 766 百万円  
設立日 : 2010 年 9 月 14 日  
出資比率 : 日産自動車 51%、住友商事 49%  
事業内容 : リチウムイオンバッテリーシステムの開発、製造、販売  
車載用リチウムイオンバッテリーの 2 次利用における実証実験、事業化調査など

■EV の使用済みリチウムイオンバッテリー



**【本件に関する問い合わせ先】**

日産自動車株式会社      ジャパンコミュニケーション部    TEL : 045-523-5521  
住友商事株式会社      広報部    山脇・光原・近藤      TEL : 03-5166-3100  
フォーアールエナジー株式会社    再利用・再製品化推進部    西・大江    TEL : 045-263-6718